

「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」に係る取組状況

あぶくま信用金庫

1. 【お客さまの最善の利益の追求】のために

- ・金融商品やサービスの提案にあたっては、お客さまとしっかり向き合いライフサイクルやニーズ等をお聞きし、お客さまにふさわしい金融商品やサービスの提案を行います。

【原則6】

- ・ご高齢のお客さまに金融商品やサービスを提案する場合には、当金庫のルールに従って、お客さまの最善の利益が損なわれないよう、ご高齢のお客さまにふさわしい金融商品やサービスが提供できるように対応いたします。【原則6】
- ・当金庫は、お客さまの豊かな未来の実現のため、ライフサイクルに応じた金融商品の提案を行うとともに、経済環境や市場動向を踏まえた適切な情報提供に努めます。

【原則5】

- ・お客さまにご負担いただく手数料について、透明性を明確にし、分かりやすい説明に努めます。【原則4】
- ・複数の金融商品・サービスをパッケージとして販売・推奨等をする場合は、個別に購入することが可能であるか等をお客さまに示すとともに、パッケージ化する場合の、お客さまにとってのメリット・デメリット等の情報提供を行い、お客さまに合った提案を行います。【原則5・6】
- ・金融商品の組成に携わる場合には、商品の組成に当たり、商品の特性を踏まえて、どのようなお客さまにふさわしい商品か特定・公表いたします。【原則6】

【取組状況】

- ・当金庫では、2017年12月に「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」を制定し、以降事業年度ごとに取組状況を公表しております。
- ・2018年1月より「つみたてNISA」の取り扱いを開始し、「つみたてNISA」専用の、理解しやすい6商品を取扱っております。
- ・当金庫は、「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」に基づき、お客さまにとって最適な商品やサービスをわかりやすく比較提供することを心がけており、特定の商品やサービスに偏った販売は行っておりません。
- ・お客さまの豊かな未来の実現のために、つみたてNISAなどを活用した毎月積立型の「定時定額」の推進に重点をおいております。

【取組状況】

- ・商品内容や重要事項の説明には、主に各運用会社等の作成した資料（目論見書等）を使用しています。これらの資料は、各社で考慮された表記方法により重要な事項が強調され、分かりやすく表示されています。
- ・ご高齢なお客さまに、当金庫で販売可能とした金融商品を販売する際は、当金庫内のルールに則して取扱うこととしております。80歳以上のお客さまへの販売の場合は、別途チェック項目を設定し、販売商品が適当である等確認しております。
- ・現在、当金庫では特定の商品のパッケージ販売は行っておりませんが、実施する場合には通常取引以上に十分な情報提供をし、お客さまに合った提案を行います。
- ・現在、当金庫はリスク性商品の組成を行っておりませんが、今後、商品の組成に携わる際には、想定する顧客属性等を特定・公表する等の対応を行います。

2. **【利益相反の適切な管理】** のために

- ・当金庫は、金融商品の販売に際して受け取る手数料などの報酬をお客さまにご理解いただけるようわかりやすく開示することに努め、手数料を優先した商品の販売・提案は行いません。**【原則4】**
- ・お客さまとの間に利益相反が発生するような事案については、別に定める「利益相反管理方針兼管理規程」および「顧客説明管理規程」に基づき、適時適切に管理してまいります。**【原則3】**

【取組状況】

- ・当金庫は投資信託販売時、目論見書、目論見書補完書面にて商品内容を説明するとともに、販売時やその他にかかる手数料について丁寧にご説明いたします。
- ・投資信託等、お客さまから何らかの手料をいただく商品については、期待されるリターンとリスク・手数料について適切な説明を行うよう徹底しております。
- ・投資信託に係る各種手数料は投資信託ラインナップに詳細な説明を掲載しております。加えて、ファンドごとの手数料率も一覧で比較可能となっております。説明方法についても、適宜指導を行っております。

3. 【お客さま本位の業務運営を実践していく体制整備】のために

- ・「お客さま本位の業務運営」を実施・定着させていくために、職員に周知徹底してまいります。【原則7】
- ・当金庫は、職員に対しお客さまの最善の利益を追求するとともに、誠実・公正な提案ができるよう教育や研修を行い専門資格の取得を奨励し、お客さまに良質なサービスを提供できる人材の育成に取り組んでまいります。【原則6】

【取組状況】

- ・当金庫では、お客さまの資産形成に資するファイナンシャル・プランニングの資格取得を推奨しており、有資格者は、1級・2級併せて57名となりました。
- ・営業店の業績評価や個人表彰制度に、投資信託の毎月積立型「定時定額」（つみたてNISA）の項目を設定し、特定の商品販売に偏った推進や、過度な手数料収入に傾注した営業活動にならないようにしております。
- ・お客さまへの金融商品を販売する際には、各金融商品の本部専門部署と連携し、営業職員と連携し、お客さまへ最適な提案・アドバイスを行える体制を整えております。

4. 【お客さま本位の業務運営の実施状況開示】のために

- ・当金庫は、「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」の実施結果として、共通KPIに加え、当金庫の自主的なKPIの公表を定期的に行ってまいります。
- ・開示指標の公表、本方針・管理体制の見直しについては毎年見直しのうえ、必要があれば改正します。
- ・開示方法は、ホームページ等にて行います。

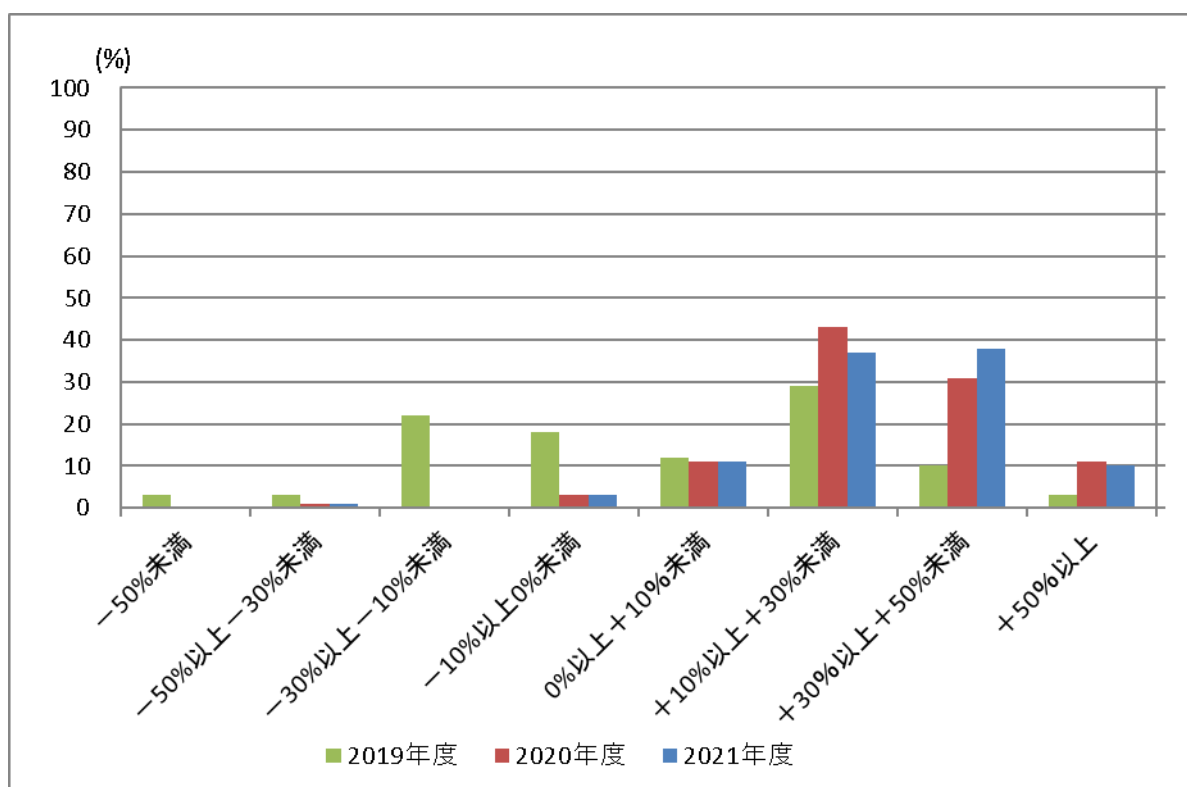
以上

(2021年9月29日一部改正)

預かり資産業務に係る成果指標（共通 KPI）は以下のとおりです。

1. 【共通 KPI】運用損益顧客比率

当金庫で投資信託を保有しているお客様の運用損益状況を、運用損益率区分ごとに表示しています。運用損益率がプラス（0%以上）のお客様は約 96%でした。



基準日 : 2022年3月末時点

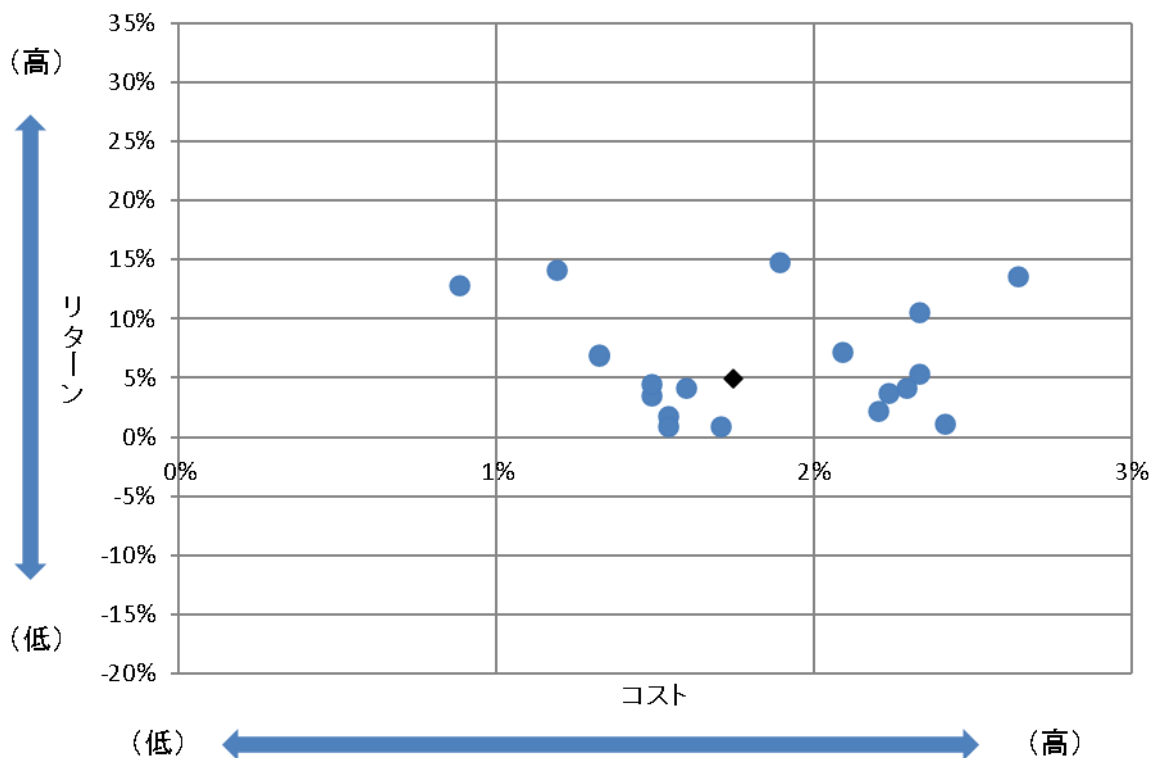
運用損益 : 基準日時点の評価金額+累計受取分配金額（税引後）+累計売却金額－累計買付金額（販売手数料（税込）を含む）

運用損益率 : 上記運用損益を基準日時点の評価金額で除して算出

2. 【共通 KPI】 投資信託預かり残高上位 20 銘柄のコスト・リターン／リスク・リターン

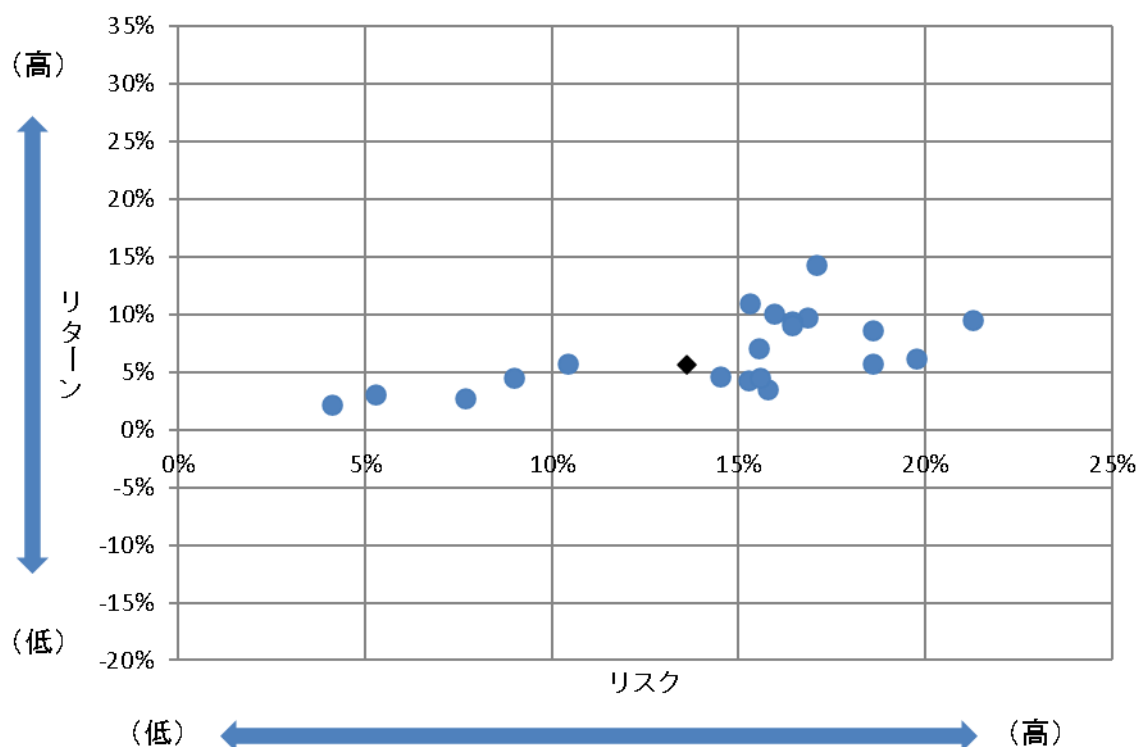
当金庫の投資信託の残高上位 20 銘柄について、コストやリスクに対するリターンを表示しています。残高上位 20 銘柄の平均コスト 1.67%、平均リスク 13.61%に対し、平均リターンは 5.59%となりました。

投資信託預かり残高上位 20 銘柄のコスト・リターン



残高加重平均値	コスト	リターン
	1.67%	5.59%

投資信託預かり残高上位 20 銘柄のリスク・リターン



残高加重平均値	リスク	リターン
	13.61%	5.59%

基準日 : 2022年3月末時点

対象ファンド : 投資信託の預かり資産残高上位 20 銘柄 (設定後 5 年以上)

コスト : (販売手数料 ÷ 5) + 信託報酬 (年率)

リターン : 過去 5 年間のトータルリターン (年率換算)

騰落率算出の際に用いる基準価額は分配金再投資後 (税引前) の基準価額を使用

リスク : 過去 5 年間の月次リターンの標準偏差 (年率換算)

騰落率算出の際に用いる基準価額は分配金再投資後 (税引前) の基準価額を使用

※上記は将来における当金庫の取扱の投資信託のリターン、リスクを示唆、保証するものではありません。

当金庫の投資信託の残高上位 20 銘柄は以下の通りです。(2022 年 3 月末時点)

No.	ファンド名	運用会社
1	しんきん J リートオープン (毎月決算型)	しんきんアセットマネジメント投信
2	しんきん 3 資産ファンド (毎月決算型)	しんきんアセットマネジメント投信
3	新光 US-REIT オープン	アセットマネジメント One
4	三井住友・グローバル・リート・オープン	三井住友 DS アセットマネジメント
5	ダイワ・バリュース株・オープン	大和アセットマネジメント
6	しんきんグローバル 6 資産ファンド (毎月決算型)	しんきんアセットマネジメント投信
7	三井住友・ニュー・チャイナ・ファンド	三井住友 DS アセットマネジメント
8	DIAM 高格付インカム・オープン (毎月決算コース)	アセットマネジメント One
9	しんきん日経平均オープン	しんきんアセットマネジメント投信
10	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	三菱 UFJ 国際投信
11	しんきんインデックスファンド 225	しんきんアセットマネジメント投信
12	ノムラ・ジャパン・オープン	野村アセットマネジメント
13	三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド (為替ヘッジ型)	三井住友 DS アセットマネジメント
14	ニッセイ/パトナム・インカムオープン	ニッセイアセットマネジメント
15	JAPAN スタンダードオープン	三菱 UFJ 国際投信
16	グローバル・ソブリン・オープン (毎月決算型)	三菱 UFJ 国際投信
17	しんきん好配当利回り株ファンド	しんきんアセットマネジメント投信
18	しんきん世界好配当利回り株ファンド (毎月決算型)	しんきんアセットマネジメント投信
19	しんきん好配当利回り株ファンド (3 ヶ月決算型)	しんきんアセットマネジメント投信
20	三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド (為替ノーヘッジ型)	三井住友 DS アセットマネジメント

※設定後 5 年以上

「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」にかかる成果指標の公表について

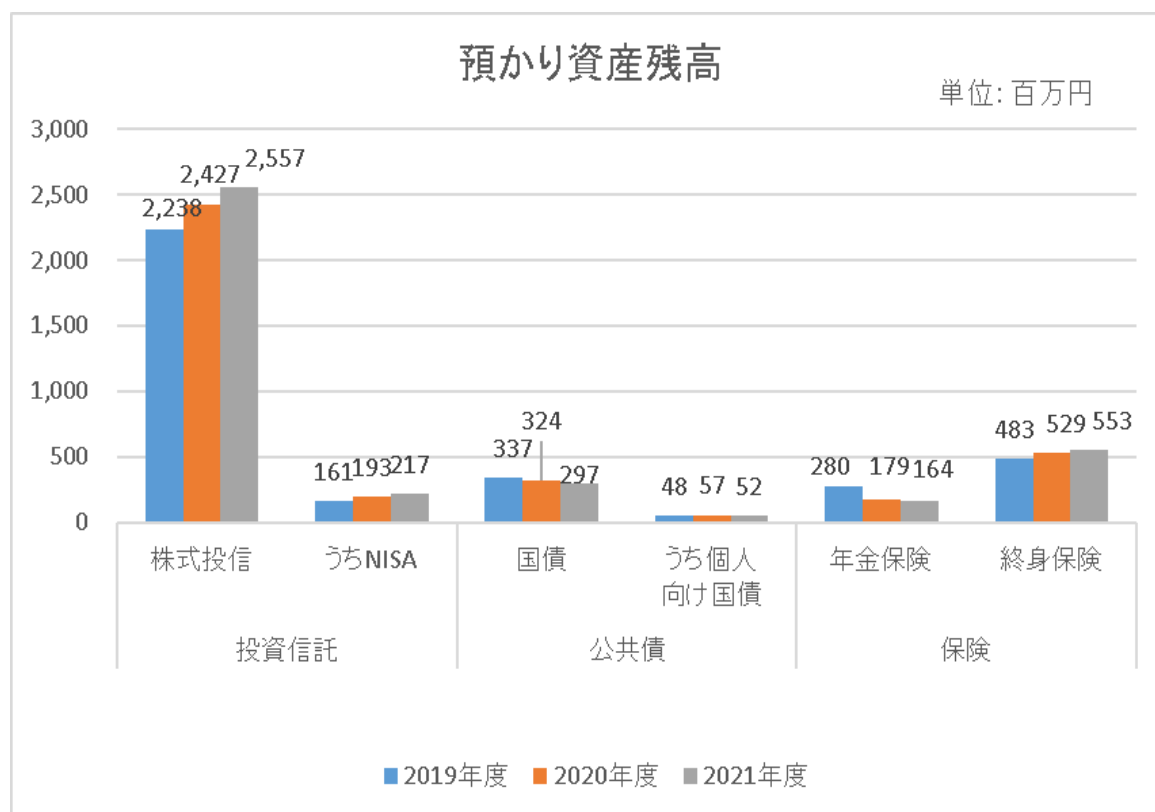
あぶくま信用金庫は、すでに制定・公表しております「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」にかかる成果指標について公表いたします。

当金庫の自主的な成果指標に加え、「投資信託の販売会社における比較可能な共通成果指標」を公表いたします。

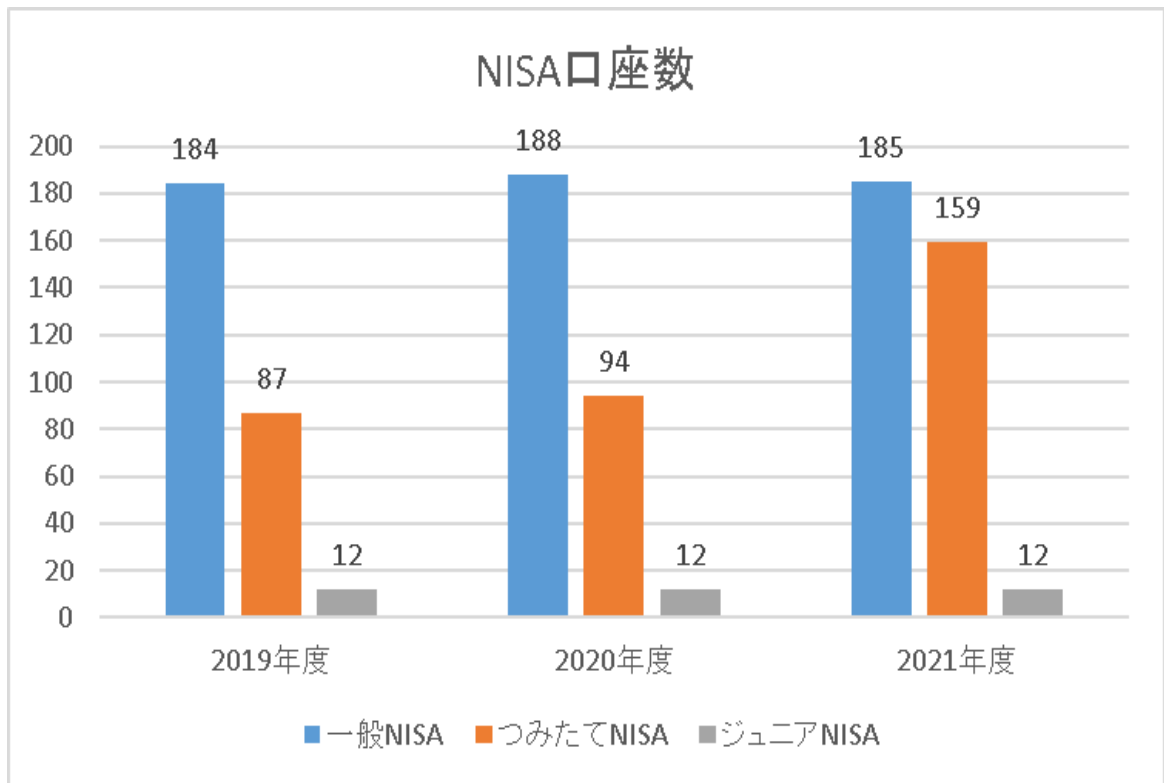
基本方針に基づく具体的な取組状況につきまして、お客さまにわかりやすく確認いただけますよう公表してまいります。

役職員全員が、今後も「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」に基づきお客さま本位の業務運営に取り組んでまいります。

当金庫における自主的な成果指標



投資信託・公共債・保険等の商品をご用意し、お客さまの資産形成ニーズに対応しております。(2022年3月末現在) [原則6]



長期的な資産形成ニーズに対して、長期・分散に資する運用方法としてNISA制度の活用をご提案しております。[原則6]

資格名称	資格取得者数
ファイナンシャル・プランニング技能士1級	1名
ファイナンシャル・プランニング技能士2級	56名
ファイナンシャル・プランニング技能士3級	35名
金融窓口サービス技能検定2級	6名
金融窓口サービス技能検定3級	9名

お客さまから安心して相談していただけるよう、専門資格の取得を奨励しております。[原則6][原則7]

各種セミナー等の開催状況

名称	開催月	開催回数
あぶしん金融セミナー	7月～11月	4回
あぶしん資産運用セミナー	10月～1月	2回
あぶしんオンラインセミナー	3月	1回

お客様の知識向上のため各種セミナーをWEB形式で開催しました。総勢355名（延べ人数）にご参加いただきました。[原則5][原則6]